

「わたしたちの大切な水道」

「あなたにとって水道ってどんなもの？」という問いに対してどんなことが思い浮かぶでしょうか。私はつい最近まで、水は無限にあつて、水道はいつでも好きなだけ使えることが当たり前だと思っていました。地球の表面の70%は水で覆われ、地球は「水の惑星」と言われています。このことから、水はどこにでもあるから、将来もずっと使えるもの、好きなだけいつでも使えるものと考えてしまいがちです。

しかし、陸の生物が利用できるのは、そのうちわずか約2.5%しかなく、水は貴重な資源のひとつとして考えるべきものです。近年では干ばつがよく発生しています。その反面で洪水を引き起こす原因にもなっています。水量は天候によっても影響を受けるので、「水」と上手に付き合っていく方法を十

香芝市立香芝東中学校 三年

松岡 あかり

分に考える必要があります。3月には東北地方で発生した大規模な地震により断水が起きました。私の両親や祖父は水道の仕事に携わっているので、「もし、奈良で大地震が起きると水道は大丈夫なの？」という質問をしてみました。すると、「大地震が起きると、断水が起きるかもしれない。」という答えが返ってきました。

それは地震に強い水道管や設備になっていない場所があるからだそうです。その理由として、地震に強い水道にするためには莫大なお金がかかるにも関わらず、近年は人口減少によって水道局の収入が減り工事の資金が足りないこと、そして水道局で技術を持った人が年々減っていることから、地震に強い水道管に交換する工事が遅れてしまい、多くの古い管が残っていることが分かりました。これ

は日本の水道に共通していることです。私の住んでいる奈良では、近い将来に南海トラフによる大震災が発生することが予想されています。そして断水になったら、たちまち不自由な生活を強いられることが容易に想像できます。

私は「水道の課題」について調べてみました。先ほどの課題の他に、小規模になるほど水道局の経営が苦しくなっていること、川や湖など水道の原水の汚染や地球温暖化によるゲリラ豪雨や渇水が多くなっていること、水道への負担が大きくなっていることなど、課題は山積みであることがわかりました。

課題の解決に向けて、水道に従事している方々は日々頑張っておられます。

では、私たち利用者に何ができるのでしょうか。

まず、水を無駄遣いしない行動はもちろんですが、省エネルギーの行動は地球温暖化の抑制に効果があり、汚れた水を流さないことなど環境にやさしい行動も大切です。そのうえで、私たち利用者が水道に関心を持ち、応援していく姿勢が大事なのではないかと思

ます。

人口が減少する状態が続いて利用者がさらに減少することが予想されています。水道の収入が少なくなる中で、この先も同じ料金で同じ内容の水道サービスの継続を求めるとはとても難しいということをおぼろげに感じています。私たちが理解しておくことも必要です。

世界に目を向けてみると、大半の国では水道の水を飲むことができず、それどころか飲み水の確保が難しい国がたくさんあります。日本には世界に誇れることのできる高い水道技術があるので、蛇口をひねると51項目のきびしい水質基準を満たした安全な水がいつでも出てきます。これは当たり前なことでは、忘れがちですが、とてもありがたいことなのです。海外に友達がきたら、まず日本の水道を自慢したいです。日本の進んだ水道技術が活かされて蛇口から安全な水が飲める国が増えていけばいいな。頑張れ日本の水道。私はずっと水道を応援します。